

学位論文概要「環境情報からのメッセージ」(環境イノベーションマネジメント専攻)

名前	指導教員	論題	論文要約
林香梅	遠藤聡	知識経済化時代における企業城下町の持続性に関する研究 - 富士フィルム・足柄地域を事例として-	企業城下町では、地域経済の多くを特定の企業・グループに依存し、企業・グループの盛衰によって、企業城下町が大きな影響を受けている。本研究は、知識経済の時代を背景として、大企業の立地行動と企業城下町に関する先行研究を踏まえ、事業転換を成し遂げた富士フィルムが立地している足柄地域を事例として選択した。再生医療分野での活用事例及び富士フィルムの特許分析によって、基盤技術の継承性を明らかにしてから、リーダー研究者を取り上げ、暗黙知とすり合わせの論証を展開し、技術の地域的定着性を示した。
崔沢文	安本雅典	コンセンサス標準におけるプラットフォーム戦略の考察 - 移動体通信産業における標準化と知財戦略の関係の分析 -	本研究は複雑な移動体通信システムにおいて、コンセンサス標準のプラットフォーム戦略を検討する。まず、プラットフォーム戦略や標準化などの既存研究をレビューし、分析フレームワークを構築することにより、知識密度がコントロールの源泉だと指摘する。そして、こうした知識密度の高さは、他の企業の引用を促し、引用の中心となって、ほかの企業が技術的依存することになるため、コントロールできるようになると明らかにする。
張蓉	安藤孝敏	改革開放後の中国四川省農村部女性中高年者の孤独感に関する研究	中国では、改革開放後の都市化にともない、若い世代が出稼ぎのため農村部から都市部へ移動し、高齢者の扶養問題が深刻化になった。特に、農村部の女性高齢者が教育レベルが低い、保守的な思想が存在し、社会活動への参加意識が弱いことが、孤独感が高いではないかと考えられる。本研究では、仮説を設定して、四川省の農村において、アンケート調査を行った。そして、得られたデータを集計分析、重回帰分析して、女性高齢者の孤独の状況、人間関係の状況、人間関係と孤独感について検討したい。
清水恭亮	本藤祐樹	住宅用太陽熱給湯システムの市町村別 CO2 削減費用の推計	家庭部門のエネルギー消費の約 30%が給湯用途の消費であり、太陽熱給湯システムによる CO2 削減が期待できる。太陽熱給湯システムの導入を効果的に支援していくためには、CO2 削減の費用対効果を地域別に検討することが有効である。本研究では、地域の自然・社会的条件（気候、電源構成、燃料価格など）の違いを考慮した上で、太陽熱給湯システムの CO2 削減費用を市町村別に推計し、費用対効果の高い地域を明らかにした。

吉田圭佑	鳴海大典	ショーケースの冷気漏れに着目した CFD 解析に基づく店舗の省エネルギー設計手法	スーパーマーケットやコンビニなどの食品小売店舗では店舗全体のエネルギー消費に対する冷凍・冷蔵ショーケース（以下 SC）の割合が半分から3分の2程度を占めることが示されている。冷凍・冷蔵 SC の冷気漏れは、食品小売店舗のエネルギー消費量増加だけでなく室内環境の悪化の原因となっている。本研究では、CFD 解析から店舗内環境再現モデルを構築し、スーパーマーケットの店内環境の再現および省エネルギーに関する検討を行った。
ウルケシチャウキヤ	周佐喜和	中国におけるソーシャルメディアのマーケティング活用 -ソーシャルメディアが消費行動に与える影響について-	本研究では、中国におけるソーシャルメディアを用いたマーケティングに着目し、グランズ戦略に基づく事例を調査によってソーシャルメディアが消費者行動にどのような影響を与えるのかを明らかにする。結論として（1）中国のソーシャルメディアマーケティング従来のマスマーケティングの機能の延長線上にある。（2）ソーシャルメディアマーケティングは従来のマスマーケティングと異なる機能が進んでいる。
金虹	安藤孝敏	高齢者入所施設における介護専門職の高齢者虐待への認識 -中国遼寧省における調査より-	高齢者虐待は発見されにくい特徴があり、虐待問題を解決するより、事前に予防することが大事である。 本研究は、虐待事例を定め、介護職員を対象として調査を行い、介護者の高齢者虐待認識を明らかにし、虐待認識を高める対策を検討する。調査結果、高齢者虐待については、全体的に認識度が低く、公的施設の介護者と民間施設の管理者の認識度が高かった。 本研究を通して、施設内における介護者向けの研修が必要と考え、高齢者虐待の定義と範囲を明らかにし、普及することが必要であると考ええる。
徐岩	遠藤聰	現代アートプロジェクトの地域マネジメントに関する研究 -瀬戸内国際芸術祭を事例として-	本研究では、地域振興政策の歴史を分析して、振興政策の持続的可能性を持たない欠陥と地域アートプロジェクトの展開しづらい課題を再確認でき。瀬戸内国際芸術祭の発展プロセスを通じて、地域にあるアートの展開史と関連の組織発展史を分析でき、地域アートマネトを通じた地域振興政策が新たな地域モデルとして考えられる。

<p>ルービンマリア</p>	<p>安藤孝敏</p>	<p>居宅介護住宅改修が要介護者と介護者の身体機能に与える影響について ～住宅改修の要介護者と介護者の事例ケースから考える～</p>	<p>本研究の目的は、要介護者と介護者両方に影響を与える住宅改修の効果や、要介護者の身体機能の低下の適応と対処方法について理解を深めることが必要である。この事例研究フレームワークを用いて、住宅改修の効果について、要介護者、家族介護者、ケアマネージャーに意見を聞く予定である。</p> <p>本研究は更に要介護が身体機能の低下に対応するために「問題に焦点を当てる行動」と「感情に焦点を当てる行動」の両方を実行していることを表す。このレポートで提唱された「克服モデル」は適応できそうな行動と彼らの肯定的、否定的な結果という全体的な見解をもたらす。</p>
----------------	-------------	--	---